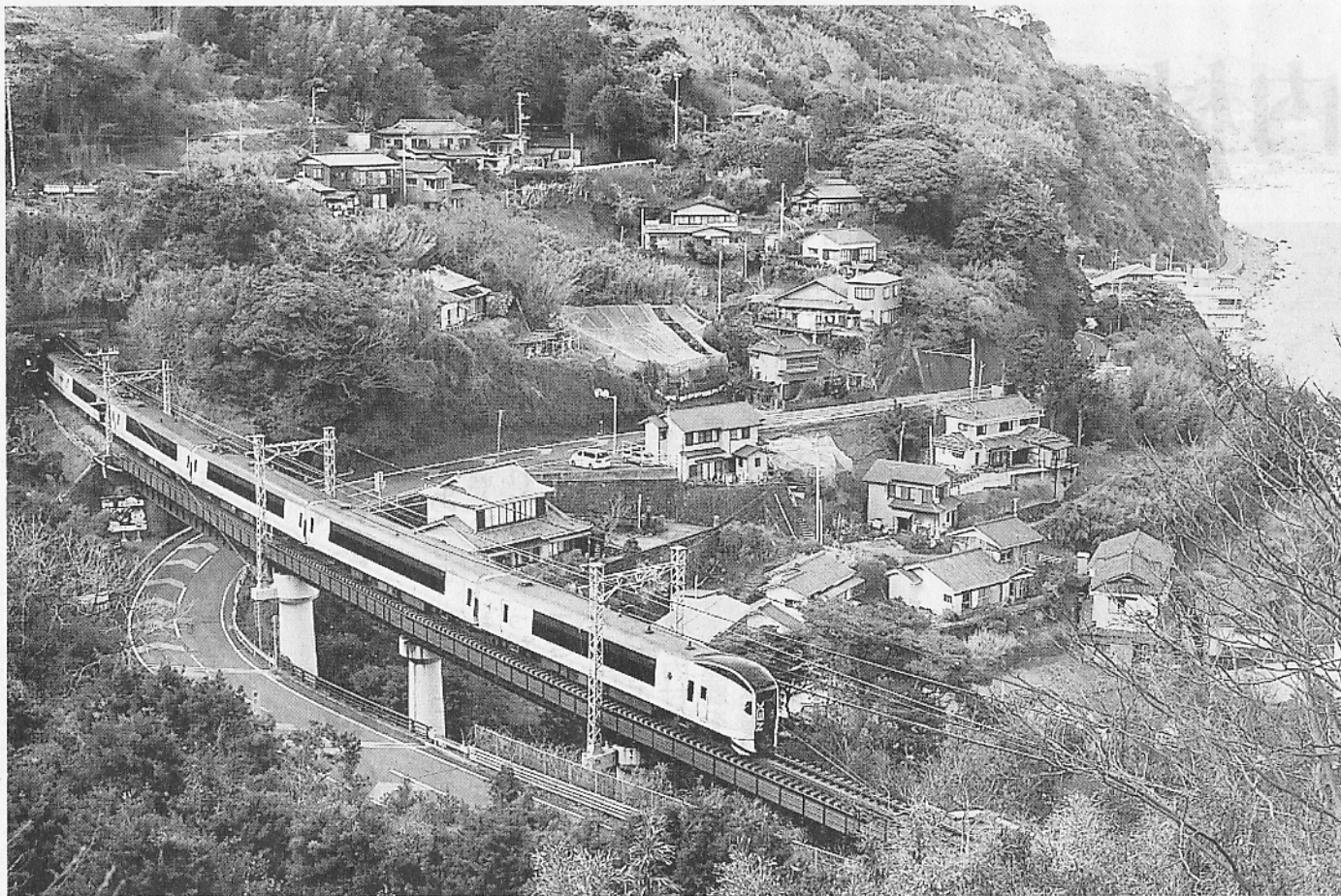


# GW 注目の伊豆へ



今年もGW(ゴールデンウィーク)を迎える。年によって休日の配列や会社の独自対応などにより、「大型」になったり、「飛び石」になったりするが、さわやかな季節と重なって心

楽しい時期である。その楽しみ方は様々だが、やはり行楽に充てる人が多い。もう、あなたの行楽プランはできたでしょうか？  
大型連休を利用した海外旅行も魅力だが、今年の静岡では「伊豆半島」もねらい目だ。GW直前の17日、



伊豆半島の東海岸を走る「マリンエクスプレス踊り子号」＝東伊豆町、全日写連・高根美奈夫さん撮影

伊豆半島は国際的に貴重な地形や地質として国連教育科学文化機関(ユネスコ)の「世界ジオパーク」に認定された。

伊豆半島ジオパークの全体像を学べる伊豆市修善寺の展示施設「ジオリア」には、認定後は連日、以前の2倍以上の来館者があり、半島各地のジオサイト(みどころ)もにぎわいを見せ始めている。

「ジオリア」の案内資料によれば、伊豆半島は約60万年前までに南海から火山島や海底火山の集まりがプレートに乗って移動し、本州に衝突してきたとされる。この特異な地域の将来像を、行政はどのように位置づけているのか。

このほど県が策定した「新(ジ)ョン」は、伊豆半島を4月から向こう10年間で「地域の特徴ある風土や歴史に、住む人も訪れる人も愛着と魅力を感じ、活発な観光交流がにぎわいを生み出す地域」にしたいとしている。ジオパーク認定はタイミングよく、そのスタートを告げる号砲になった。

GW前半と後半の連休にJR東日本は東京―下田間に「マリンエクスプレス踊り子号」を運行させる。

「ジオII大地・地球」の意味や「踊り子」の由来にも関心の薄い若者や家族連れも乗せて、新緑の伊豆海岸線を縫うように赤い屋根の「豪華観光列車」は走り抜ける。GWの風のように。

(前静岡県監査委員)

富永久雄